



# 2019年3月期 決算説明会資料

ゲオホールディングス(2681)

GEO HOLDINGS CORPORATION

May .14 .2019



## 本資料の記載内容

---

- 1 2019年3月期 決算概要
- 2 2019年3月期 商材別実績
- 3 2019年3月期の重点取組み
- 4 今後の取組み
- 5 2020年3月期 業績予想
- 6 配当・株主還元
- 7 補足資料
- 8 会社概要

# サマリ

---

## 連結業績

- 売上高は前期を下回るも、利益は増加
- 「リユース系リユース」商材の伸長による売上総利益の確保

## 取組み

- リユース既存店が好調に推移
- 出店計画は、順調に進行
- 継続的な販管費コントロールを実施
- E C 関与売上の伸長

# 2019年3月期 決算概要

---

## 1

## 売上高は前期を下回るも、利益は増加

### ・2019年3月期：連結損益計算書

売上高前期比は97.8%となるも、リユース商材の伸長により売上総利益・営業利益は、前期を上回りました。また経常利益については、再開発事業の補償金と天災等による保険金受取により、前期比115.6%となりました。

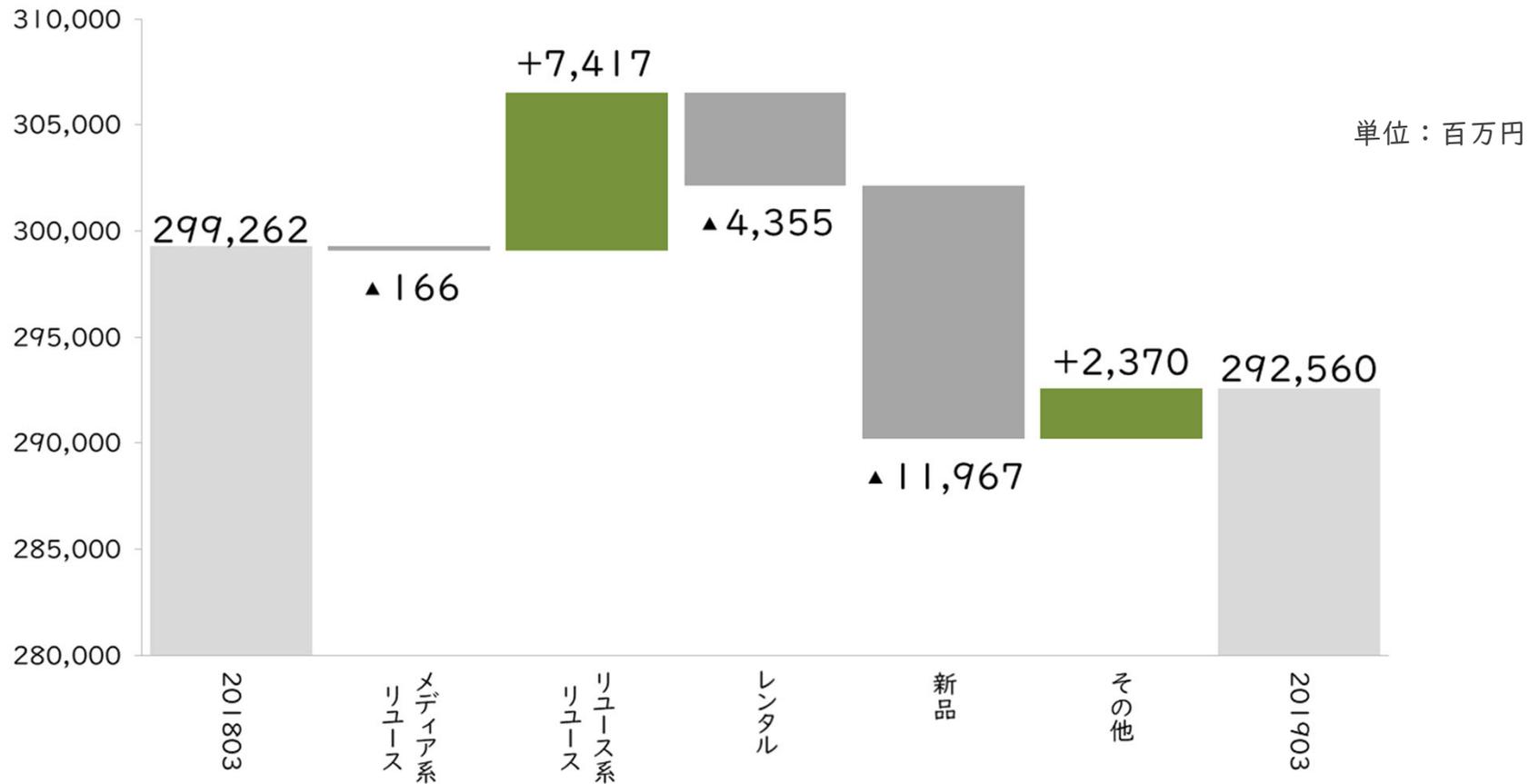
単位：百万円	19.3月期 通期実績	18.3月期 通期実績	増減	前期比
売上高	292,560	299,262	▲6,702	97.8%
売上総利益	121,772	119,583	2,188	101.8%
(売上総利益率)	41.6%	40.0%		
販管費	106,104	104,915	1,188	101.1%
営業利益	15,668	14,668	999	106.8%
(営業利益率)	5.4%	4.9%		
経常利益	17,632	15,248	2,384	115.6%
当期純利益	10,301	6,614	3,687	155.7%

## 1

## リユース系リユース商材の伸長

## ・ 2019年3月期：売上高前年同期比増減

レンタルの下降トレンド継続と18年3月期の大ヒット商品となった新機種ゲーム機器等の販売需要が落ち着くも「リユース系リユース」商材は伸長しました。

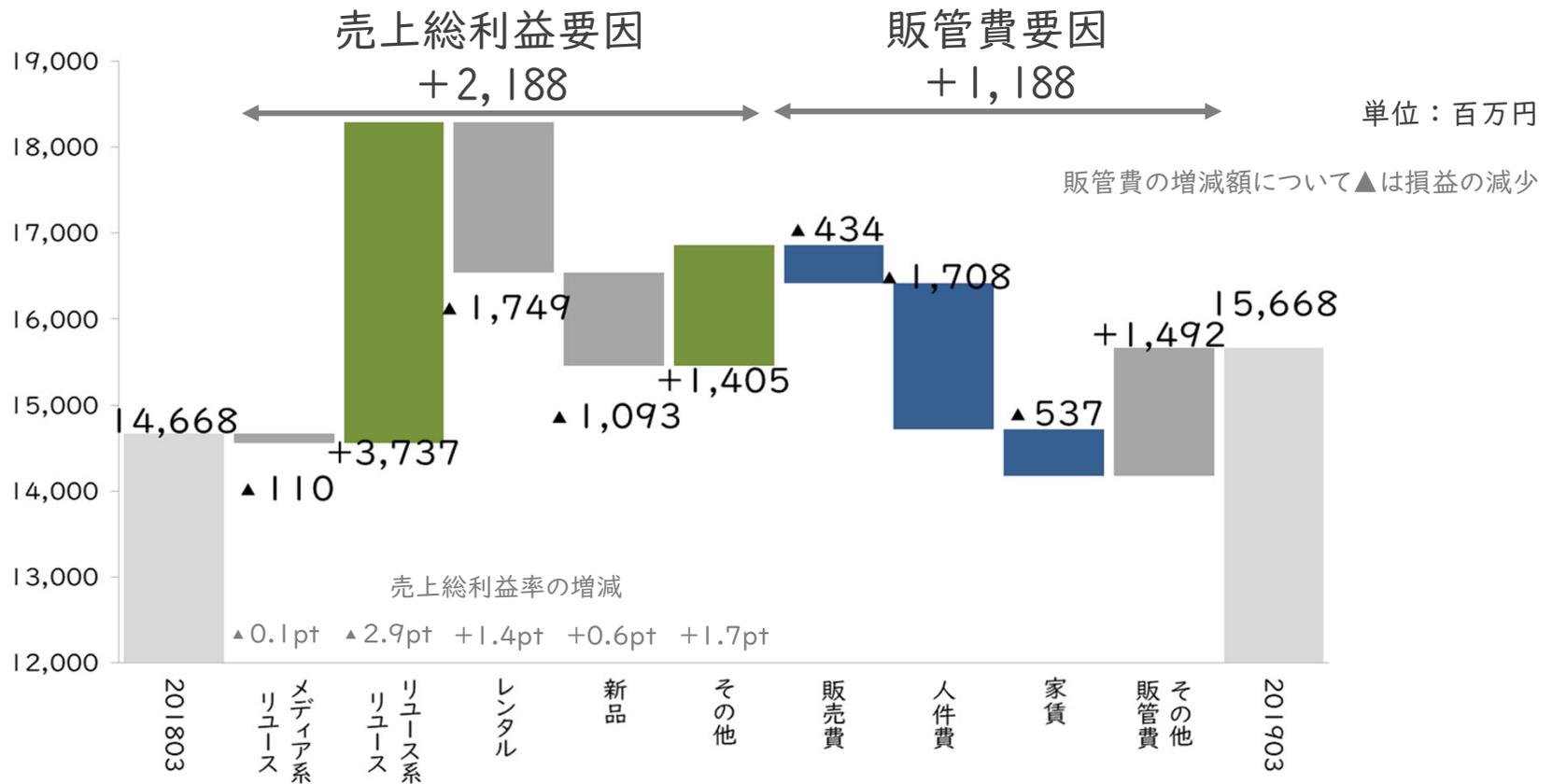


# 1

## 前期を上回る営業利益を確保

### ・ 2019年3月期：営業利益 前年同期比増減

「リユース系リユース」商材が想定を上回る推移となり売上総利益を確保。新規出店による人件費や地代家賃等は増加するも、水道光熱費などランニングコストの改善もあり、営業利益は前年同期比106.8%となりました。



## 1

# 継続的に販管費コントロールを実施

出店による販管費の増加はあるものの、  
既存店舗のオペレーション効率化を継続的に取り組んでおります。

単位：百万円	19.3月期	(売上比)	18.3月期	(売上比)	増減	(前期比)
	通期実績		通期実績			
販売費計	9,861	3.4%	9,426	3.2%	434	104.6%
広告宣伝費	3,443	1.2%	2,968	1.0%	475	116.0%
販売促進費	443	0.2%	630	0.2%	▲186	70.5%
人件費計	53,298	18.2%	51,589	17.2%	1,708	103.3%
その他諸経費計	42,944	14.7%	43,898	14.7%	▲954	97.8%
水道光熱費	4,186	1.4%	4,608	1.5%	▲422	90.8%
地代家賃	21,907	7.5%	21,369	7.1%	537	102.5%
減価償却費	3,723	1.3%	4,599	1.5%	▲876	81.0%
備品消耗品費	1,828	0.6%	1,602	0.5%	225	114.1%
修繕費	1,157	0.4%	1,690	0.6%	▲532	68.5%
販管費計	106,104	36.3%	104,915	35.1%	1,188	101.1%

販管費の増減額について▲は損益の増加

# 2019年3月期 商材別実績

---

## 2

## 既存店リユース商材が伸長

## ・ 商材別売上高（累計期間）

新機種ゲーム機器等の販売需要が落ち着き、「新品」商材の売上高前期比は、88.2%となりました。また「レンタル」商材の減少トレンドは続くも、「リユース系リユース」商材が既存店で大きく伸長することでカバーに努めました。

単位：百万円	19.3月期 通期実績	18.3月期 通期実績	前期比	増減額
リユース	106,666	99,415	107.3%	7,250
メディア系	54,173	54,340	99.7%	▲166
リユース系	52,493	45,075	116.5%	7,417
レンタル	62,288	66,644	93.5%	▲4,355
新品	89,218	101,186	88.2%	▲11,967
その他	34,387	32,016	107.4%	2,370
合計	292,560	299,262	97.8%	▲6,702

## 2

## 商材構成比の変化により、売上総利益を確保

### ・商材別売上総利益（累計期間）

「新品」商材の売上高減少による利益影響は、全体インパクトとしては薄く、粗利率の高い「リユース系リユース」商材が伸長し、商材構成比が変化したことにより前年を上回る売上総利益を確保しました。

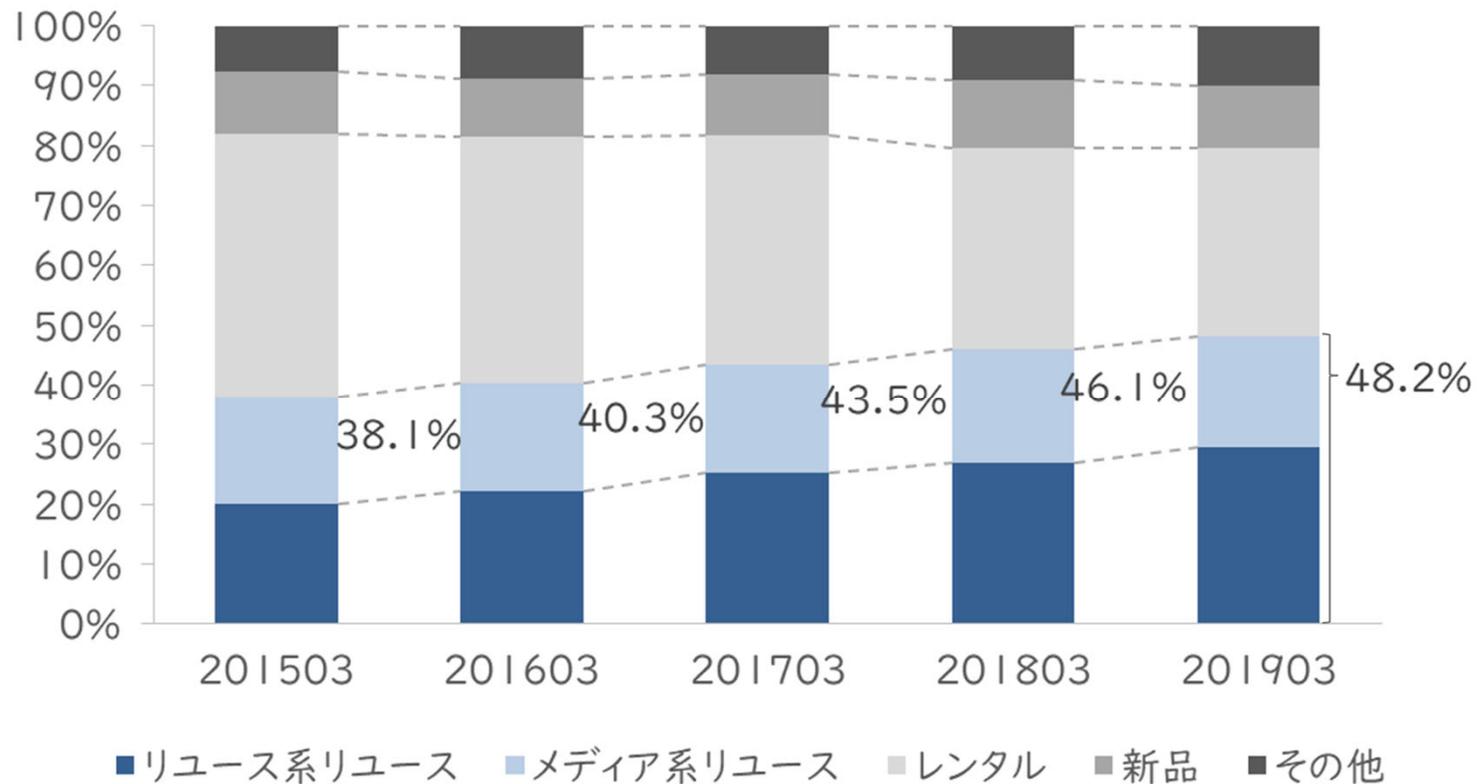
単位：百万円	19.3月期 通期実績	18.3月期 通期実績	前期比	増減額
リユース	58,751	55,124	106.6%	3,626
メディア系	22,954	23,064	99.5%	▲110
リユース系	35,797	32,059	111.7%	3,737
レンタル	38,287	40,036	95.6%	▲1,749
新品	12,446	13,540	91.9%	▲1,093
その他	12,287	10,882	112.9%	1,405
合計	121,772	119,583	101.8%	2,188

## 2

## 当社グループの売上総利益（構成比）の変化

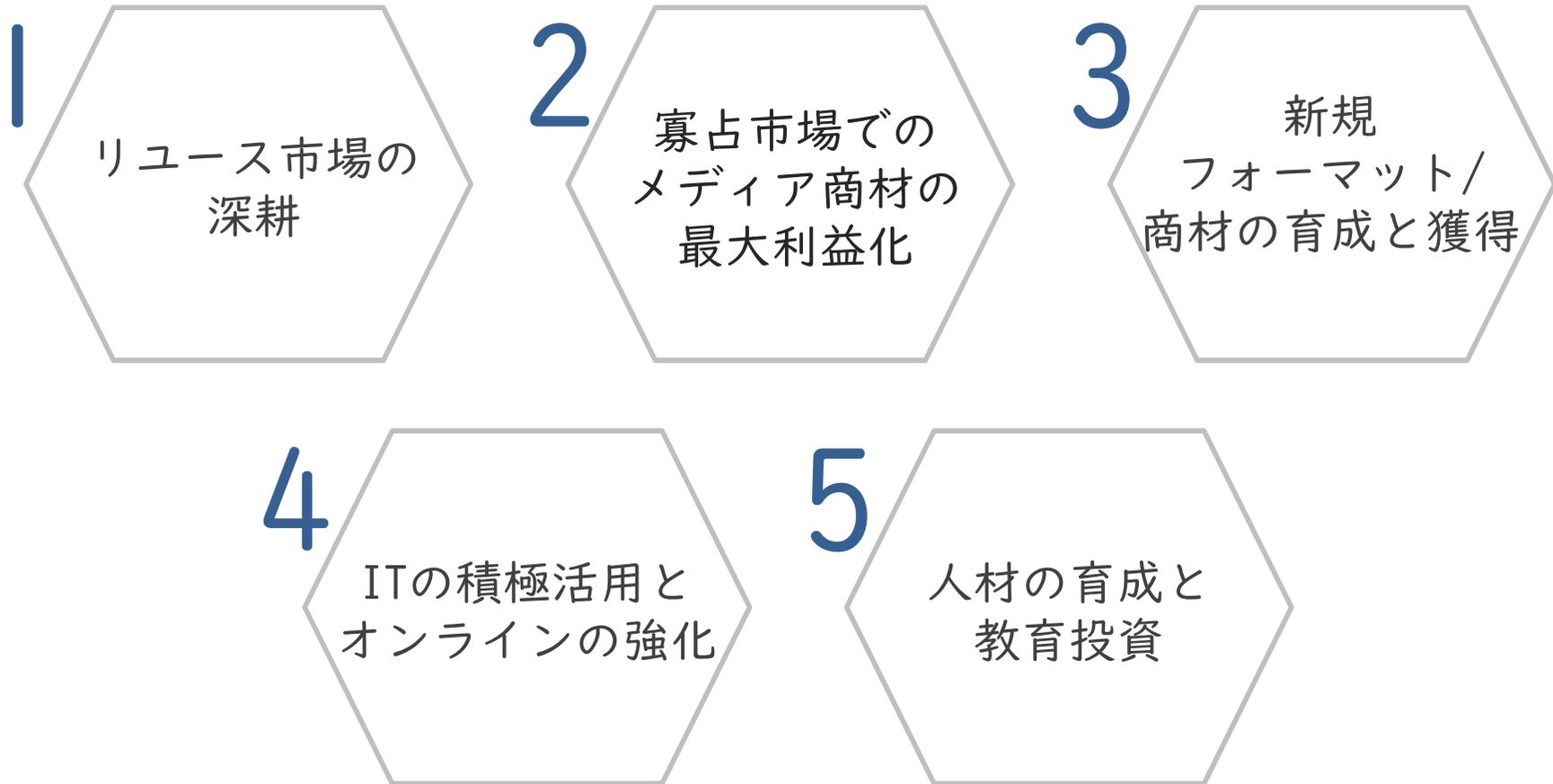
## ・ 商材別売上総利益構成比（累計期間）

「リユース系リユース」商材の構成比が年々高まり、前期に比べて+2.1ポイント増加。全体では、48.2%となりました。



# 2019年3月期の重点取組み

---

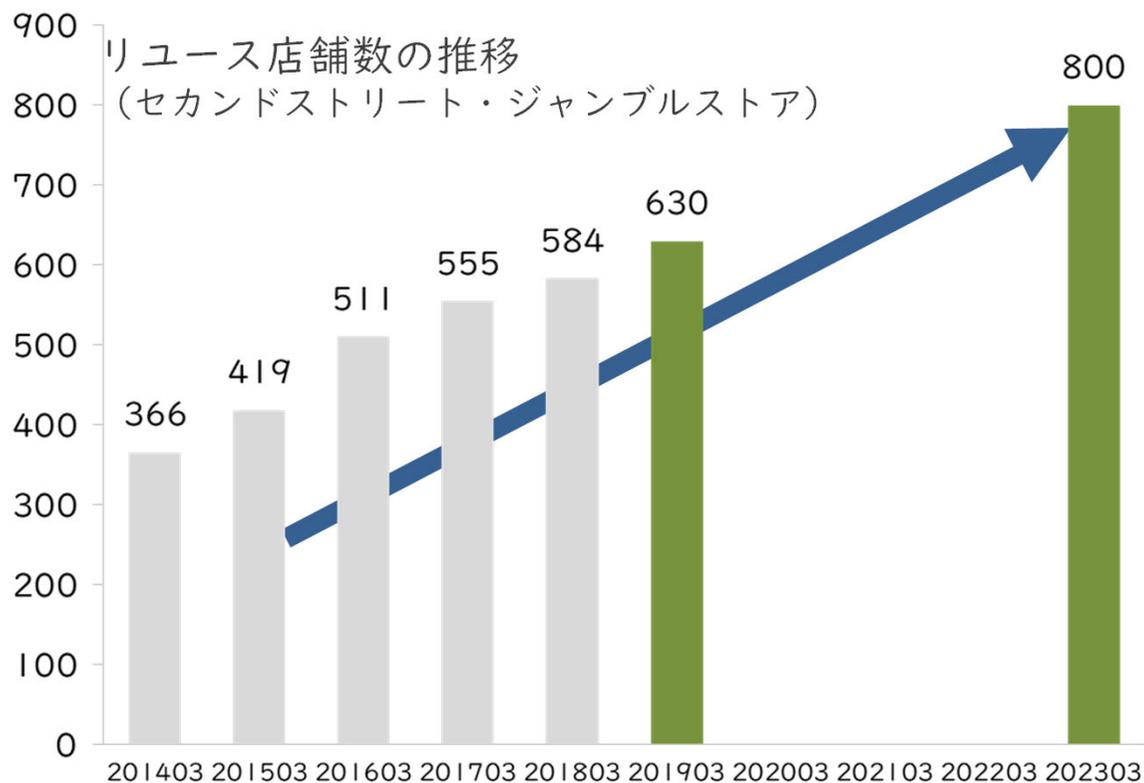


## 3

## リユース市場の深耕&lt;国内&gt;①

## ・成長が続くリユース市場での出店継続

地域特性に合わせた専門店業態開発を含めた店舗展開によるリユース市場の深耕。期首計画を上回る計53店舗の出店を実施。国内だけではなく海外への出店を含め、リユース店舗は800店を目指してまいります（2023年3月終了時点）。



セカンドストリート  
久留米合川店  
(福岡県久留米市)



セカンドストリート  
東大阪宝持店  
(大阪府東大阪市)

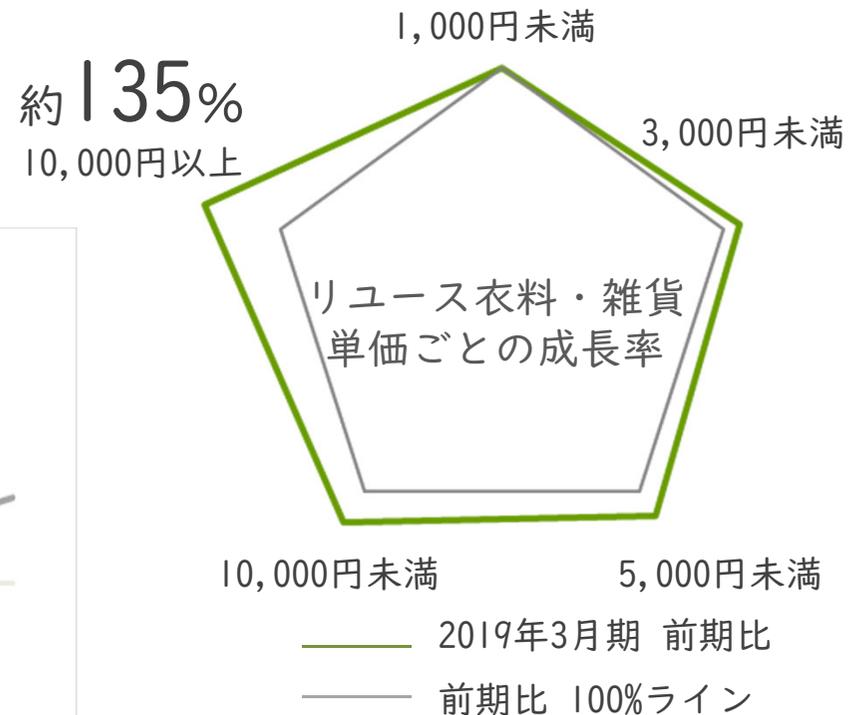
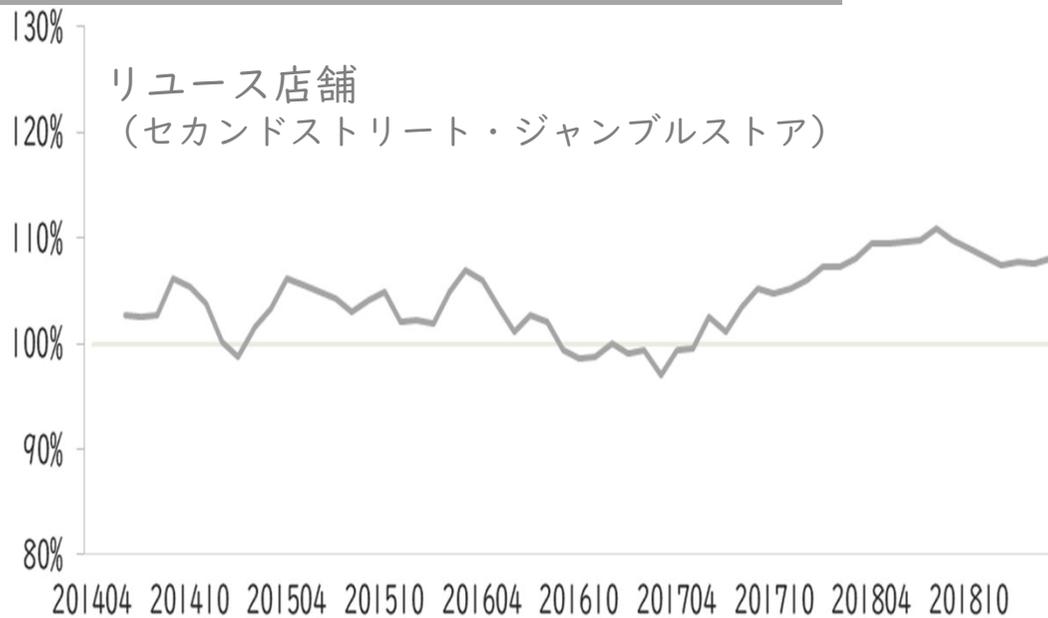
### 3

## リユース市場の深耕<国内>②

### ・リユース系商材が既存店で大きく伸長

リユース市場の拡張を背景に、既存店も好調に推移。特にセカンドストリートショップにおいては高単価商品の伸長率が高く、「リユース系リユース」商材が大きく伸長しました。

既存店売上高前年比の推移 (3ヶ月移動平均)



## 3

## リユース市場の深耕&lt;国内&gt;③

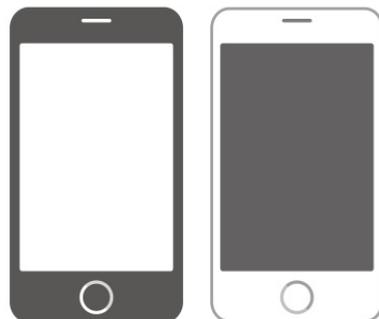
## ・中古携帯（スマートフォン・タブレット）へのアクセス基盤整備

今後ますます注目が集まる中古携帯を、ゲオショップ・ゲオモバイルショップを中心とした店舗網とECサイトでお届けしております。

人材教育と配置拠点数拡大で、中古携帯市場を牽引していきます。

売上高  
前期比（累計）

119.4%



専門スタッフ配置の拠点数（店）

153

2019年3月時点

101

2018年3月時点

専門スタッフ（人）

625 ◀ 336

2019年3月時点

2018年3月時点

※専門スタッフとは、モバイル知識を有し、お客様のニーズに合ったモバイル商品のご案内や格安SIMなどの料金説明が出来る当社基準を満たした従業員です。



## 3

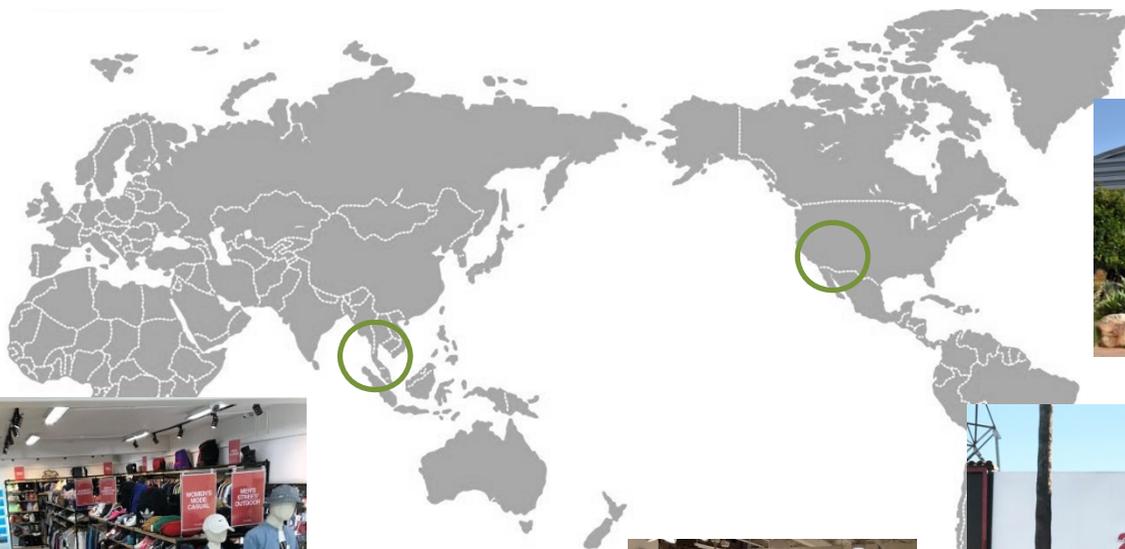
## リユース市場の深耕&lt;日本以外&gt;

## ・海外マーケティングリサーチの拠点展開を

セカンドストリートの北米（カリフォルニア州）出店（2018年1月）に続き、同州において2店舗を出店。またマレーシアでは、卸売り事業も並行して開始致しました。今後も各拠点にて海外展開のための市場調査を行いつつ、機運を見定めながら販路拡大を模索していきます。



セカンドストリート マレーシア



セカンドストリート USA

## 3

## 寡占市場でのメディア商材の最大利益化

## ・店舗網を活用したプロモーション活動を展開

全国に張りめぐらせたメディアショップ1,203店舗（2019年3月末）を活かし、ゲオ限定特典付の商品展開や体験型イベントを開催しております。顧客接点としての店舗網で、メディア商材の最大利益化を図ります。

■全国に広がる

ゲオショップ 1,203店舗



・e スポーツイベント  
『ウイニングイレブン GEO CUP 2019』  
GEO CUP 2019ロゴイメージ



・ゲオ限定カラー  
PlayStation®4用ワイヤレスコントローラー  
(DUALSHOCK®4) ベリー・ブルー  
©2018 Sony Interactive Entertainment Inc.



・ゲオ限定  
「オリジナルスチールブック」付き商品

・©2019 FromSoftware, Inc. All rights reserved. ACTIVISION is a trademark of Activision Publishing Inc. All other trademarks and trade names are the properties of their respective owners.

### ・より便利に買物が出来る環境へ

アプリ開発・ECサイト運営、新規フォーマット開発の挑戦をし続けます。消費行動の変化に呼応したサービスを提供し、実店舗とオンライン環境において、シームレスなリテリングサービスを展開してまいります。



#### ・2018年8月リリース

即金買取アプリ（ゲオスグ）  
手間や時間をかけず早く査定をして欲しい、早く現金化したいというお客様ニーズに応えます。



#### ・2018年12月スタート

ECでの薬粧系雑貨販売事業  
取扱商材はサプリメント・化粧品等、  
どんな商材が当社と親和性が高いかのマーケティングを行っております。

#### ・2019年3月オープン

文具のブンゾウ北本店  
ナショナルブランドの文具  
ディスカウントショップ。  
店舗でまだ伸びていく余地のある商材や業態（フォーマット）開発を続けております。

## 3

## ITの積極活用とオンラインの強化

当社のサービスのうち、小売サービスにおける電子商取引が関与した売上高を比較。



単位：百万円	19.3月期 通期実績	18.3月期 通期実績	前期比
EC関与売上高	10,385	7,471	139.0%
EC関与販売数	2,300,078	1,640,895	140.2%

## 3

# ジオグループ店舗数の状況

・ 総店舗数 1,878店

	2019年 3月末	2018年 3月末	増減
ジオグループ店舗施設	1,878	1,843	35
小売サービス店舗	1,866	1,833	33
 ジョショップ	1,203	1,220	▲17
直営店	1,026	1,037	▲11
代理店・FC店	177	183	▲6
 ジョモバイルショップ	17	17	0
 セカンドストリート	630	584	46
ジャンブルストア※			
直営店	578	535	43
FC店	52	49	3
その他	16	12	4
 アミューズメント施設	12	10	2

※ スーパーセカンドストリート・買取専門店等を含む



セカンドストリート寒川倉見店  
(神奈川県高座郡寒川町)



セカンドストリート新宿店  
(東京都新宿区)



セカンドストリート大阪  
難波買取専門店  
(大阪府大阪市浪速区)



セカンドストリート/GEO守山吉根店(愛知県名古屋)

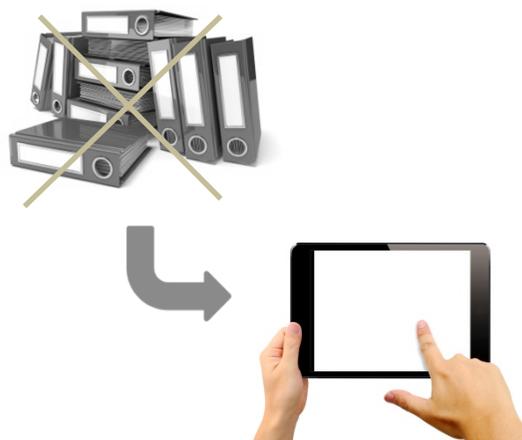
## 3

## 省電力化へ取組み -約8割の店舗でLED導入完了-

店舗の照明にLEDを導入し、CO2の削減やエネルギー効率化への取組みを図ってまいりました。2019年3月末時点でのLED導入店舗は1,488店舗となり、継続的な環境への配慮を心掛けています。今後も積極的に店舗へのLED導入の継続に加え、電子化を進めることで紙を減らし、環境に優しいクリーンな企業を目指します。



1,488店舗で  
LED導入



全店舗で  
タブレット端末を導入し  
ペーパーレス化を促進



2,000台を超える  
セルフレジ導入

(2019年3月末時点)

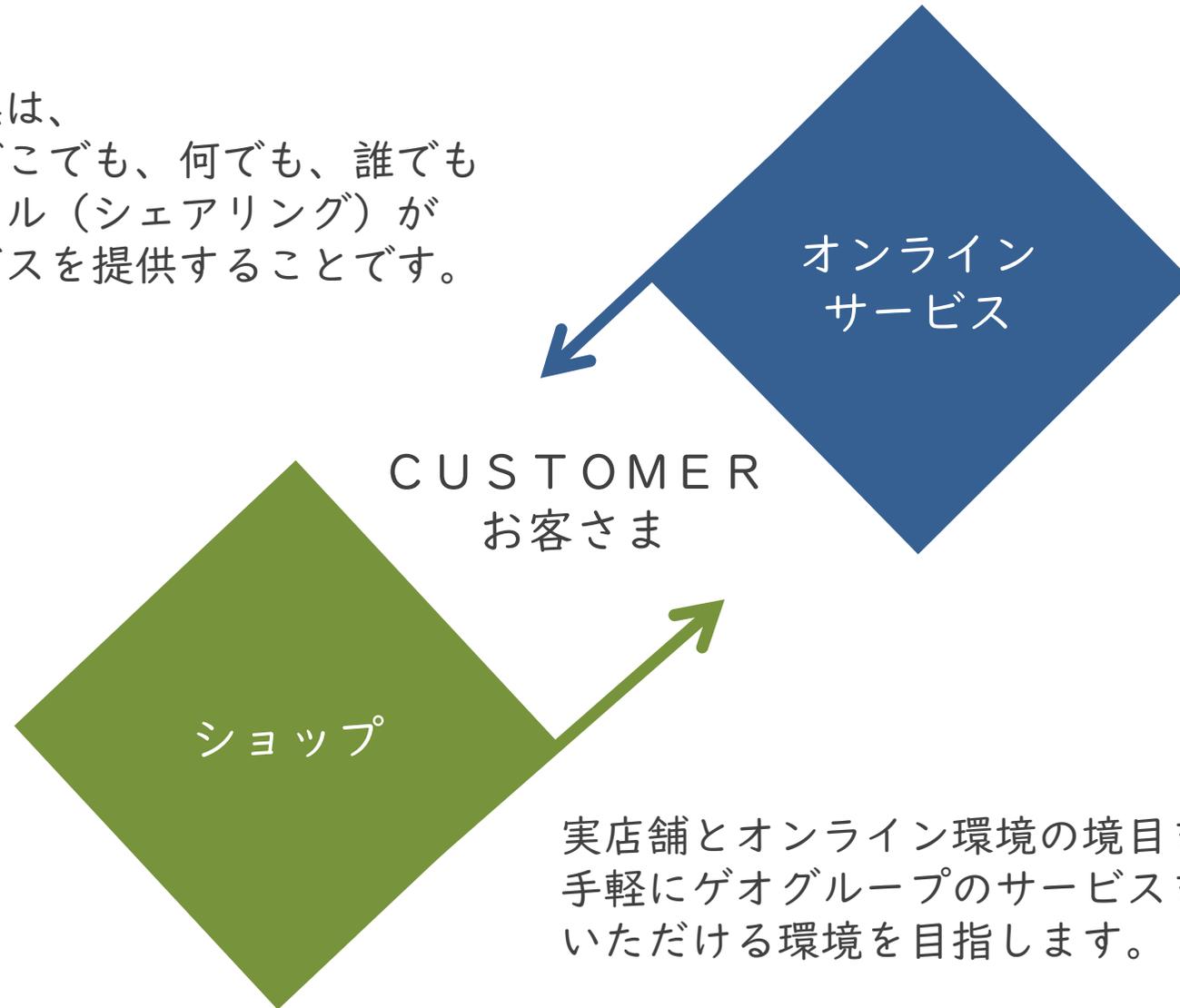
# 今後の取組み

---

# 4

## 私たちのビジネス

私たちの目標は、  
いつでも、どこでも、何でも、誰でも  
売買・レンタル（シェアリング）が  
出来るサービスを提供することです。



実店舗とオンライン環境の境目をなくし、  
手軽にゲオグループのサービスを利用して  
いただける環境を目指します。

## 4

## 出店計画

出店計画		
	店舗数	概要
ゲオショップ 	25店舗	移転・統合出店 メディアショップの集客力を活用した新規商材の獲得とメディア事業の収益最大化
ゲオモバイルショップ 	5店舗	中古携帯の販売/買取に特化したアクセス基盤の構築
セカンドストリートショップ 	45店舗	2023年3月 800店舗構想
セカンドストリートショップ USA 	7店舗	アメリカ西海岸につづく、海外店舗網の拡張
新規フォーマット	20店舗	新規事業・商材の開拓に向けたトライアル

**ÖKURIA** (おくら)

### 2019年4月、株式会社お蔵の株式取得

お蔵は、高級時計、ブランドバックなどの卸売業、オークション市場の運営を行っているほか、新宿歌舞伎町店と上野御徒町店の2店舗で買取・販売店舗を運営しております。

同社の持ちますラグジュアリー(高級)ブランドのリユース商材調達力をグループに取り込むことにより、リユース市場におけるラグジュアリー商材部門においてもNo.1を目指してまいります。



お蔵 上野御徒町店 (東京都台東区上野)



お蔵 新宿歌舞伎町店 (東京都新宿区歌舞伎町)

## 4

## オフプライス・ストア



**Luck-Rack**  
CLEARANCE MARKET

(ラック・ラック クリアランス マーケット)

アメリカで成長を続ける  
オフプライス・ストア(O P S)業態を  
日本国内で初めてチェーン店展開開始

O P S 業態とはアパレルメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品全てをいつでもセール価格で提供する業態です。

単純な衣料品ディスカウントストアでもなく、単一ブランドを扱うアウトレットストアでもない「宝探しのようなショッピング体験」をショップコンセプトとしており、リユース事業で培った運営ノウハウを活かして床や壁にはカラフルなグラフィックを施し、さらに、アイテムやテイストをまとめて陳列することにより、欲しい商品がすぐに見つけられる工夫もしております。



コーナン港北インター店（神奈川県横浜市都筑区）

# 2020年3月期 業績予想

---

## 5

## 2020年3月期 業績予想

- ・ レンタル市場縮小傾向継続想定下でも、売上高6.0%増の3,100億円を想定
- ・ 出店を含めたリユースへの投資継続及び新たな小売事業フォーマット・新規商材開拓を行うため減益を想定
- ・ 衣料服飾主軸のリユース店舗の出店継続に加えて、ラグジュアリーブランド商材専門店業態・買取専門店業態にも積極的に取り組み、また物流整備を含めた電子商取引対応への投資を行い、シームレスな売買・レンタル環境を整備してまいります。

単位：百万円	20.3月期 通期見通し	増減率	19.3月期 通期実績
売上高	310,000	6.0%	292,560
営業利益	10,000	▲36.2%	15,668
経常利益	10,500	▲40.5%	17,632
当期純利益	5,250	▲49.0%	10,301

# 配当・株主還元

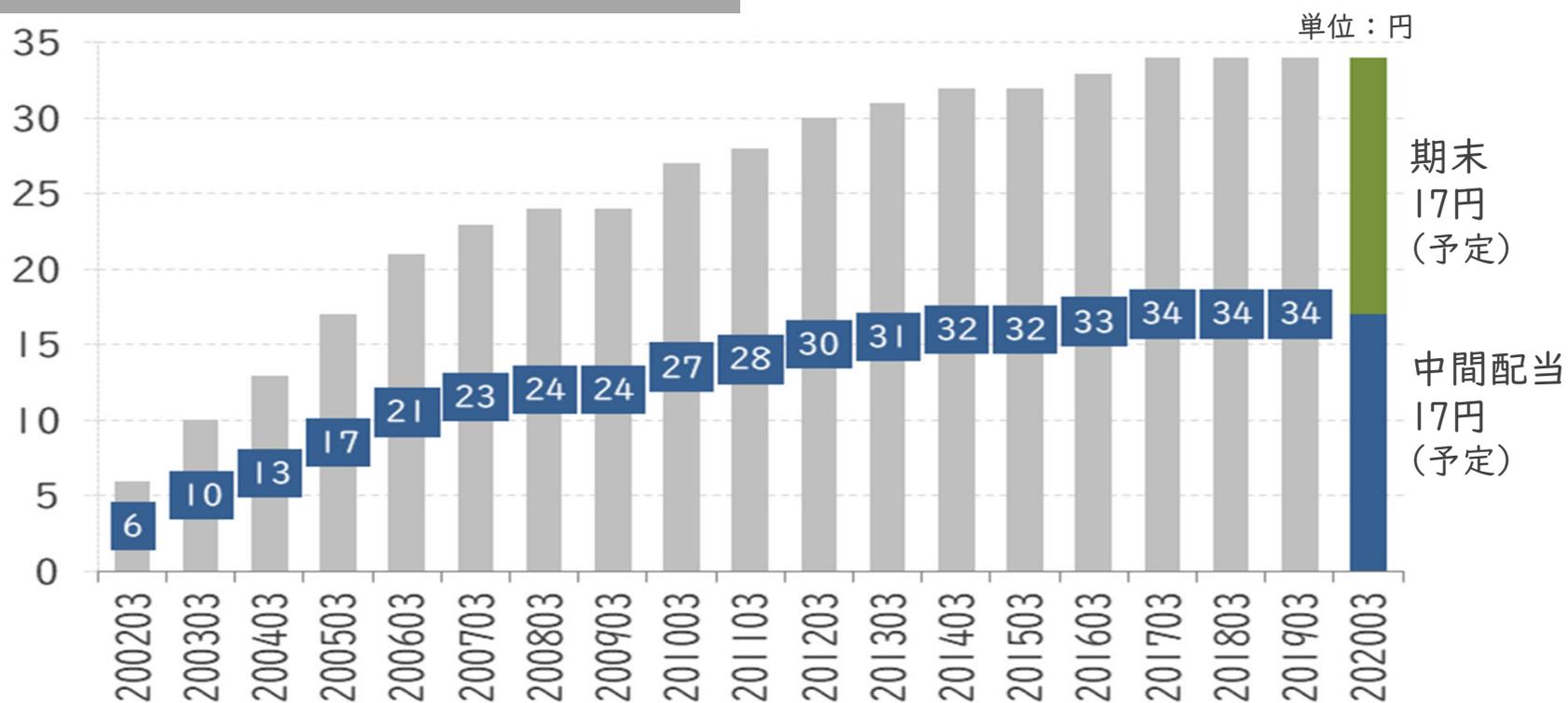
---

## 6

## 配当方針

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

分割調整後の1株当たり配当額推移



## 6

## 株主優待制度

当社では、株主優待制度として単元株（100株）以上の株式を保有の株主様を対象にリユース店とメディア店でそれぞれにご利用頂ける株主優待を贈呈しております。

3月31日の株主様

リユース店優待 割引券2,000円

リユースをより身近に

※有効期限は翌年5月31日まで。販売価格1,000円以上（税抜き）のお買物につき、1枚（500円分）の割引券をご利用いただけます

継続保有期間1年以上の  
9月30日の株主様

メディア店優待 レンタル半額

話題の新作も、1年間ずっと半額

※有効期間は翌年12月31日まで。  
割引限度額は100万円までご利用いただけます。

# 補足資料

---

## 7

## 2019年3月期：連結貸借対照表

	単位：百万円	2019年3月末	構成比	2018年3月末	構成比	増減額
流動資産		84,406	61.8%	84,566	61.6%	▲159
現金及び預金		35,789		42,667		▲6,878
商品		35,071		30,007		5,064
固定資産		52,183	38.2%	52,769	38.4%	▲585
有形固定資産		27,978		28,396		▲418
無形固定資産		1,517		1,443		73
投資その他資産		22,688		22,929		▲240
資産合計		136,590	-	137,335	-	▲745
流動負債		31,380	23.0%	35,618	25.9%	▲4,237
買掛金		11,484		12,316		▲832
1年以内返済予定の長期借入金		4,203		5,539		▲1,336
固定負債		30,599	22.4%	29,526	21.5%	1,073
長期借入金		21,193		19,897		1,296
負債合計		61,980	45.4%	65,144	47.4%	▲3,163
自己株式		▲0		▲525		525
純資産合計		74,609	54.6%	72,191	52.6%	2,418
負債純資産合計		136,590	-	137,335	-	▲745

## 2019年3月期：連結損益計算書

単位：百万円	19.3月期				18.3月期			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
売上高	64,425	68,148	84,778	75,208	61,407	74,735	85,082	78,037
(前期比)	104.9%	91.2%	99.6%	96.4%	101.1%	120.2%	113.4%	111.3%
売上総利益	29,093	30,360	32,365	29,953	27,848	30,486	31,897	29,352
(前期比)	104.5%	99.6%	101.5%	102.0%	101.9%	109.8%	108.6%	106.7%
(売上総利益率)	45.2%	44.6%	38.2%	39.8%	45.3%	40.8%	37.5%	37.6%
販管費	25,368	26,763	26,753	27,218	24,811	26,059	26,375	27,667
(前期比)	102.2%	102.7%	101.4%	98.4%	99.4%	100.3%	99.5%	106.9%
営業利益	3,724	3,596	5,612	2,734	3,036	4,426	5,521	1,684
(前期比)	122.7%	81.3%	101.6%	162.4%	128.0%	250.3%	192.0%	102.4%

## 7

## 2019年3月期：連結キャッシュフロー

		2019年	2018年	増減額
単位：百万円		3月31日	3月31日	
	うち減価償却費	4,334	5,449	▲1,114
	うちレンタル用資産減価償却費	6,152	7,038	▲886
	うち減損損失	744	2,122	▲1,377
	うちレンタル用資産取得による支出	▲5,881	▲6,429	547
	営業C F 小計	14,941	16,142	▲1,201
	うち法人税等の支払額	▲7,555	▲1,545	▲6,009
営業C F		7,903	16,345	▲8,442
	うち有形固定資産の取得による支出	▲4,184	▲3,248	▲936
投資C F		▲6,318	▲2,969	▲3,349
	うち短期借入による収入	10,100	10,400	▲300
	うち短期借入金の返済による支出	▲10,100	▲12,040	1,940
	うち長期借入による収入	5,500	5,000	500
	うち長期借入金の返済による支出	▲5,539	▲6,372	832
	うち配当金の支払額	▲1,565	▲1,630	65
	うち自己株式の取得による支出	▲6,308	▲525	▲5,783
財務C F		▲8,052	▲5,253	▲2,799
	現金及び現金同等物の増減額	▲6,468	8,123	▲14,591
	現金及び現金同等物の期末残高	38,774	45,175	▲6,401
	フリーキャッシュ・フロー（簡易）	1,584	13,376	▲11,791

## 7

## 商材別売上高（会計期間）

単位：百万円	19.3月期 1Q 実績	19.3月期 2Q 実績	19.3月期 3Q 実績	19.3月期 4Q 実績	18.3月期 1Q 実績	18.3月期 2Q 実績	18.3月期 3Q 実績	18.3月期 4Q 実績
リユース	25,421	25,071	28,936	27,237	22,731	23,821	27,115	25,747
メディア系	13,278	13,260	13,651	13,982	12,317	13,696	13,885	14,440
リユース系	12,142	11,810	15,284	13,254	10,414	10,124	13,230	11,306
レンタル	15,508	16,782	15,130	14,866	16,459	17,623	16,732	15,829
新品	15,575	17,804	31,401	24,437	15,493	24,924	32,368	28,400
その他	7,922	8,491	9,310	8,666	6,725	8,368	8,867	8,062
合計	64,425	68,148	84,778	75,208	61,407	74,735	85,082	78,037

## 7

## 商材別売上総利益（会計期間）

単位：百万円	19.3月期 1Q 実績	19.3月期 2Q 実績	19.3月期 3Q 実績	19.3月期 4Q 実績	18.3月期 1Q 実績	18.3月期 2Q 実績	18.3月期 3Q 実績	18.3月期 4Q 実績
リユース	14,198	13,872	16,064	14,615	12,964	13,064	15,163	13,932
メディア系	5,556	5,781	5,814	5,801	5,323	5,847	5,819	6,074
リユース系	8,641	8,091	10,250	8,813	7,640	7,217	9,344	7,858
レンタル	9,420	10,483	9,260	9,122	9,802	11,018	9,882	9,332
新品	2,462	2,803	4,014	3,165	2,443	3,507	4,085	3,502
その他	3,014	3,202	3,025	3,049	2,640	2,897	2,767	2,586
合計	29,093	30,360	32,365	29,953	27,848	30,486	31,897	29,352
粗利率	45.2%	44.6%	38.2%	39.8%	45.3%	40.8%	37.5%	37.6%

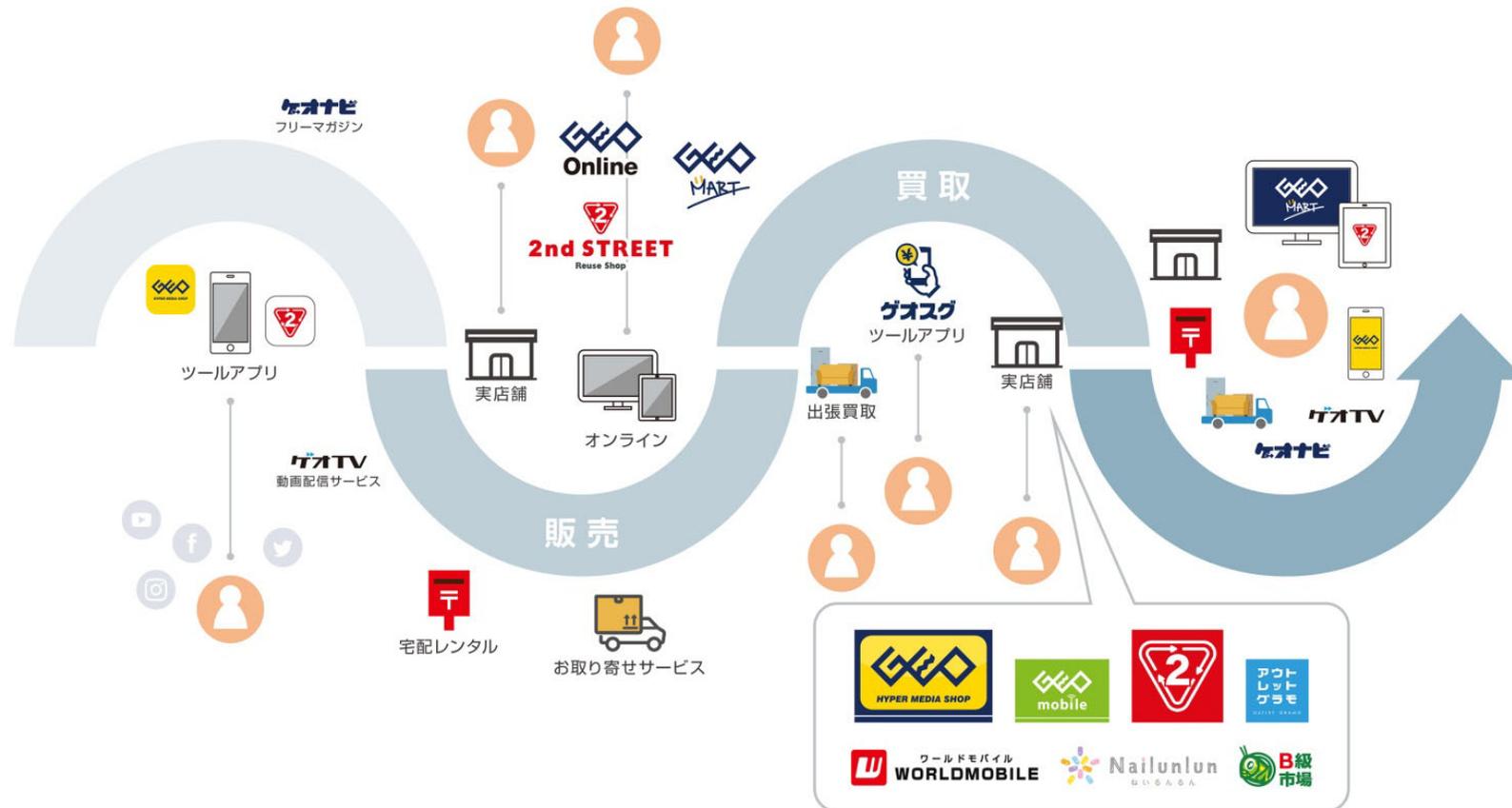
# 会社概要

---

・社名	株式会社ゲオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
・会社設立	1989年（平成元年）1月
・本社所在地	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号
東京本部	〒170-0005 東京都豊島区南大塚三丁目53番11号 今井三菱ビル
・代表取締役	遠藤 結蔵
・資本金	89億44百万円
・株式上場市場	東京証券取引所 第一部
・従業員数	4,390名（グループ全体）

2019年3月31日時点

当社が提供するサービス・商品を多くのお客様に知っていただき、販売・買取、レンタル（シェアリング）の実店舗とオンライン環境との境目をなくし、手軽にゲオグループのサービスを利用していただける環境を作ります。便利で快適なサービスを多彩なチャンネルで提供していきます。





お客様の利便性を高め、加速するキャッシュレス社会に対応することで、便利に買物が出来る環境整備の一環として、決済手段の多様化と自社プリペイドカードの育成に努めます。

## 8

# ジオグループのショップと主な取扱い

	リユース系 リユース			メディア系 リユース		レンタル		新品		アミューズメント 施設	店舗数 (2019年3月末 時点)
	衣料	衣料 服飾 雑貨	家具 家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	携帯 スマー トフォ ン	DVD	BOOK・ CD	衣料	ゲーム 機器 ゲーム ソフト		
ゲオショップ ゲオモバイルショップ 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,220
セカンドストリートショップ 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	630
アミューズメント施設 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12

※主な取扱い商材の一覧になります。店舗によっては、取扱いがない場合がございます。

## 将来の見通しに関する記述の注意

---

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。

---



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経営企画部

TEL : 052-350-5711 FAX : 052-350-5701

Email : [info@geonet.co.jp](mailto:info@geonet.co.jp)